

ごあいさつ



としている本市にとりまして順調に推移しているものと考えます。

今年も市民の皆様が健康で安心して暮らせる街づくりを進めてまいります。

皆様方のますますのご健康とご多幸を祈念申し上げます。

議会報告

平成二十年の新春を迎えた。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご厚情に心から感謝とお礼を申し上げます。

おかげさまで昨年一年間も健康で議会活動をはじめ、地域の諸問題の解決のために走り続けることができました。

本当にありがとうございました。

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

12月定例会一般質問から

要旨

第149回名護市定例会(12月定例会)は、平成19年12月6日から12月21日までの会期で行われました。平成19年度名護市一般会計補正予算案(第4号)を含む、市長提出議案12件、報告1件、同意2件、意見書案3件、決議案2件、陳情5件が提出され審議されました。審査の結果につきましては、「なご市議会だより」第64号(3月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

1、医療行政について

安心して子どもを産み育てる環境整備に医療行政の果たす役割は大変に大きいものがあると認識しております。産婦人科救急診療を担っている県立北部病院の産婦人科が平成17年4月から休止になつて以来、妊婦やその家族はもちろんのこと、北部市町村民や関係者ははじめ、多くの人々が再開を待ち望んでおります。そこで、

質問(1)

北部地域における救急医療体制についてお伺いします。

答弁 医師2名の確保ができたということです。

質問(2)

妊娠健康診査費の助成で公費負担の拡大と里帰り出産への対応についてお伺いします。

答弁 近年、高齢やストレス、就業などにより妊娠健康診査を受診しない傾向がありまして、母体や胎児の健康確保を図る上で妊娠健康診査の重要性、必要性が一層高まつているところです。また、少子化対策の一環として妊娠中の負担軽減が求められており妊娠出産にかかる経済的不安を軽減するため、公費負担の拡大が指摘されております。名護市におきましても沖縄県と県内市町村及び産婦人科医師会との検討会議の結果に基づきまして平成20年度に予算措置の方向で検討しているところであります。里帰り出産への対応では乳幼児健診や予防接種を受け入れております。

質問(3)

乳幼児健康診査で5歳児健診の導入についてお伺いします。

答弁 本市におきましては乳児健診、1歳半健診、3歳児健診等の中でも要経過観察の対象児に対して心理発達相談を行い、さらに障害の疑いのある子どもに対しても北部福祉保健所の4歳児健診につなぐことなどを実施しております。

あります。が婦人科の開設ということでありまして、産婦人科を開設するためにはどうしても医師4人の確保が必要であるため産婦人科の再開の見通しはないようあります。

市長答弁 今回は2人の医師が来られるのです。がご案内のとおり2人では十分な体制でないため、県病院管理局の知念局長からも早めに3~4人体制を組みたいとの力強い言葉もいただきましたので、引き続き努力してまいります。

イ、小児科の救急医療体制は確保されているのか。

答弁 現在として次年度も医師5人体制で24時間対応の確保ができるとしています。今後、産婦人科を再開するときは未熟児の受け入れを行う必要があるのでその時点で考えて行きたいとの県のお答えでした。

質問(2) 妊婦健康診査費の助成で公費負担の拡大と里帰り出産への対応についてお伺いします。

答弁 近年、高齢やストレス、就業などにより妊娠健康診査を受診しない傾向がありまして、母体や胎児の健康確保を図る上で妊娠健康診査の重要性、必要性が一層高まつているところです。また、少子化対策の一環として妊娠中の負担軽減が求められており妊娠出産にかかる経済的不安を軽減するため、公費負担の拡大が指摘されております。名護市におきましても沖縄県と県内市町村及び産婦人科医師会との検討会議の結果に基づきまして平成20年度に予算措置の方向で検討しているところであります。里帰り出産への対応では乳幼児健診や予防接種を受け入れております。

質問(3) 乳幼児健康診査で5歳児健診の導入についてお伺いします。

答弁 本市におきましては乳児健診、1歳半健診、3歳児健診等の中でも要経過観察の対象児に対して心理発達相談を行い、さらに障害の疑いのある子どもに対しても北部福祉保健所の4歳児健診につなぐことなどを実施しております。

二、福祉行政について

質問（1） 家庭相談業務の取り組みで、相談内容の種類、件数、対応についてお伺いします。

答弁 児童家庭課の嘱託職員で県の女性相談員を経験された方、それから北部福祉保健所の家庭相談員を経験された方、3名を配置し児童虐待をはじめ、養育相談や家庭における児童の相談、生活習慣や非行問題、家庭環境の相談等発生する様々な事案に児童相談所と連携を図りながら対応しております。

質問（2） 家庭相談室のあり方についてお伺いします。

答弁 相談件数の増加と多岐にわたる内容で現在の相談室が手狭になつていると感じております。本来ならば相談者のプライバシー保護において執務室と分離した相談専用のスペースの確保と、異なる相談内容に専門的立場で接し、相談者へのアドバイス、または関係する機関への適切な采配による早期発見へつなげ得る相談室が望ましいと考えます。

質問（3） 厚生労働省は今年4月から「生後4ヶ月までの全戸訪問事業」をスタートさせましたが、その目的、内容、予算措置などについてお伺いします。

答弁 乳児がいるすべての家庭を訪問し様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行ふとともに親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付けることが主な目的になつております。内容は育児に関する不安や悩みの聴取、相談、子育てに関する情報提供、さらに要支援家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡、調整となつております。

質問（4） 育児支援家庭訪問事業の目的、内容、実績、予算措置などについてお伺いします。

答弁 現在の「新生児訪問事業」を20年度からは先ほどの「生後4ヶ月までの全戸訪問事業」に移行して保健士及び保健推進員、民生委員、児童委員な

どによる訪問を実施し、指導と助言、育児情報の提供と虐待の防止と早期発見に努めていきたい。

三、教育行政について

質問（1） 本市教育委員会プロジェクトチームの業務内容と進捗状況についてお伺いします。

答弁 ①複式学級の課題解消に関すること。②学校給食施設の整備に関すること。③就学前教育の充実に関すること。④通学区域制度の弾力的運用に関することが業務内容となつております。①の進捗状況については、一段階目は平成21年度をめどに現在の久志小学校へ統合し、その後に二段階目として

平成24年度をめどに小中一貫教育の実現を目指した学校を現在の久志中学校に併設して新しく整備をしていきたい。②については名護市学校給食施設整備基本計画を作成してその内容に基づいて実施していく。③については保育所との関係など就学前教育のあり方について現在検討をすすめているところです。

質問（2） 名護小学校、名護幼稚園、名護中学校では、「六論衍義(六論のこころ)」の実践を通した「心の教育」を推進していますが、今後の計画についてお伺いします。

答弁 これまでの取り組みをふまえ、各学校や保育園、PTAの要請に応じて児童生徒、先生方、保育士、保護者向けの講話や講演会、さらに地域の老人会や諸団体を対象にした講演会等を積極的に行い、六論の教える普及に努めてまいります。

質問（3） 程順則名護親方が「六論衍義」を中国で製版、印刷し、沖縄(琉球)に持ち帰つて明年2008年でちょうど300年になりますが、記念事業の計画があるのかお伺いします。

答弁 本市で行われる行事に六論伝来300年記念といった冠をかぶせていくとか、たとえば六論

伝来300年記念第何回名護ハーフマラソンとか、学校においては、伝来の日に講話や授業をするとかもひとつの方ではないかと思つております。



名護小学校2学年
「親子ふれあい自転車教室」の様子
2007.11.23

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか？
日刊（1ヶ月 1,835円/税込）

激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

無料法律相談のご案内

公明党無料法律相談

日 時 每週土曜日 午後1時から午後5時まで
場 所 公明党沖縄県本部 (098-862-0210)

(最終土曜日は沖縄市の金城ツトム事務所 098-921-1000)

法テラスセンター

電 話 0570-078374 平日午前9時～午後9時まで
土曜日午前9時～午後5時まで

名護市無料法律相談

日 時 每月第2、第4火曜日(祝祭日は繰り下げて開催)
場 所 名護中央公民館第4研修室

受付時間 12:00～13:00 相談時間 13:00～16:00

問い合わせ先 名護市役所市長室 (0980-53-1212)

消費者無料相談室 (毎週木曜日 10:00～16:00)

場 所 名護中央公民館第4研修室